

城山エコミュージアム通信

2012. 12. 15 第14号



エコミュージアムとは、エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）の造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。

タイムスリップ・しろやま 昭和30年代へ



～『三丁目の夕日』や『梅ちゃん先生』の頃の城山町～

およそ半世紀前のしろやまは、
城山町になって最初の10年でした



11月3・4日に開催された城山地区文化祭では、昔の写真展『タイムスリップしろやま・昭和30年代へ「三丁目の夕日」や「梅ちゃん先生」の時代の城山町へ』を出展し、多くの人が見に来てくださり好評を得ました。日本の現状をかえりみてなのでしょう、あの右肩上がりだった昭和30年代を多くの人懐かしむ風潮があるようです。この年代は、東京タワーが着々と完成していく中、電気冷蔵庫・洗濯機・テレビが三種の神器と云われたほどに普及し、スバル360などのマイカーが身近な存在となり、夢の新幹線が現実のものとなり、東京オリンピックが華々しく開催されました。城山地域は、そんな急速な社会の変化に何歩か遅れながらも、3町が合併して城山町が誕生し、確実に農村の近代化が進むとともにベッドタウンとして、また津久井ダム・城山ダムの完成によって水の供給、電力供給を行い、日本の近代化の一翼を担ってきたことを、写真を通してお伝えすることができました。

会場は例年以上に大盛況！
今年も来場された多くの方から情報を頂くことができました。ご来場有り難うございました！



相模丘中学校生徒会選挙（上）マイカー時代は耕耘機から（中）、地元のランナーが走った東京オリンピック聖火マラソン（下・場所は藤野地区）

今回のトピック



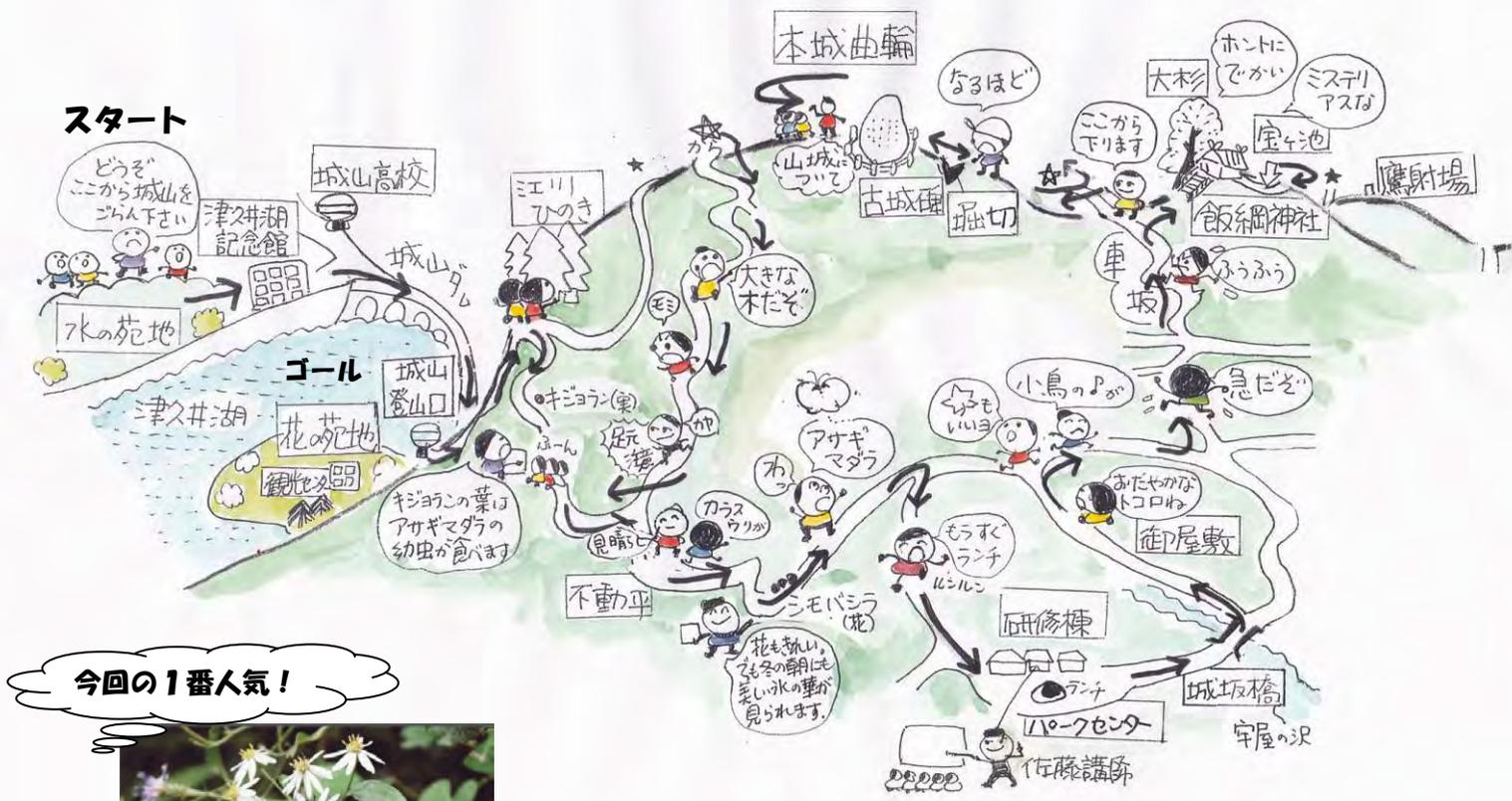
■タイムスリップしろやま・昭和30年代へ～『昔の写真展』開催 ■平成24年度エコミュージアムツアー探索結果レポート ■大好評！城山検定 今回は『どんと焼き』 ■城山探訪『キチジョウソウ』の紹介 ■出前・昔の写真館開催のお知らせ等



10月14日(日)開催
城山エコミュージアムツアー

津久井城址 (宝ヶ峰) 探索レポート

戦国時代の山城であり、ゆたかな植生を持つ、津久井城址。城山エコミュージアムの本格的活動開始10周年の節目に、旧城山町町名“城山”の由来として、“心のふるさと”城山を登るツアーを開催しました。今回は、当日歩いた結果をイラストマップでふり返ります。



今回の1番人気!



アサギマダラ (太田明様撮影)
後日お送りいただいた素敵なお写真。当日は、呼ばれたかのように参加者のもとへ優雅に飛んできました。おたよりありがとうございました!

参加者アンケートから

- 自然と歴史の組み合わせが良かった。
- 子どもにかえり自然観察ができたことがよかった。
- 学習ツアーであること、手作りっぽさにいつも感じ入ります。
- 初めての参加。資料ではよく解らないことが話で納得。
- 活動に感銘を受けた。
- 一度登りたいと思っていた念願が叶った。
- 大勢の関係者でつくりあげている感じがした。
- 次回も参加したい

知ってナットク!
しろやま



問題 正月の行事 どんど焼き

この地域では正月の15日か16日の早朝に「どんど焼き」をおこないます。子ども達が各戸から正月の松飾り等を集め、それを大人達が集落の外れの所定の場所に積み上げます。中央先端にお札か縁起物のダルマを付けた竹、または木の柱を立て、根元に神棚の古いお札等を入れて円錐形に組み上げます。当日は集落の大人や子どもが繭玉団子をさした三又の枝を持って集まります。

さて、この団子の材料は次のうちどれでしょうか。

- ① 小麦の粉
- ② 米の粉
- ③ 芋の粉



組み上げた様子



繭玉を付けて火の回りに集まる





当日の行程表

県立津久井湖城山公園水の苑地
 (城山ダム)
 ↓
 花の苑地前
 ↓
 桜の小道
 ↓
 四季の広場
 ↓
 パークセンター (説明・昼食)
 ↓
 城坂橋
 ↓
 御屋敷 (男坂)
 ↓
 飯縄神社・宝ヶ池
 ↓
 堀切
 ↓
 城山山頂
 ↓
 花の苑地 (解散)



鷹射場
たかうち
↓

飯縄曲輪
いづなぐるわ
↓

太鼓曲輪
たいこぐるわ
↓

本城曲輪
ほんじょうぐるわ
↓



水の苑地から見た城山

活動レポート

ツアー部会の活動紹介
身近に感じるエコミュージアムツアー

“ジモト”ならではの
魅力あふれるスポットを紹介



熱心に聞き入る学級生の皆さん

10月20日に開催された城山公民館主催しりやま成人学級では、城山エコミュージアムが作ったコースに沿って城山地域の自然と文化を学ぶ講座が開催され、案内、解説は城山エコミュージアムを育てる会のメンバーが行いました。

旧原宿用水から境川、大戸を経て大山みちをたどりましたが、最初の解説ポイントの原宿掘公園から参加者は興味津々で、原宿市の誕生と原宿用水についての説明をはじめそれぞれのポイントごとの説明に熱心に耳を傾け、質問が飛び交いました。

実際に原宿用水跡に沿って歩き、最近の境川河川整備とその後の自然遷移について観察しました。その後「下馬梅」、「八木重吉」、「大戸観音」について解説を行い、午後は大山みちをたどり川尻八幡宮を経て原宿堀公園まで戻るコースを歩きました。

さわやかな秋晴れの中、一日をかけてのコースでしたが、目の前にあるものが歴史であり、自然や人の営み、文化であることを発見し、学習していくエコミュージアムらしい講座となりました。



地域にのこる火の祭

どんど焼き

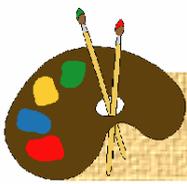


燃えあがった様子

正月におこなわれるどんど焼き。この燃え盛る炎に墨書した紙を入れ、高く舞い上がると習字の腕が上がる言われ、また燃える炎で体を温めると若返るとか、病気になる等とも言われてきました。火の勢いが衰えて、置き火になってくると、枝を差し出して団子を焼きます。この団子を食べると「風邪をひかない」、「歯痛にならない」等と言われています。「どんど焼き」のルーツは、古代の火祭り、火を神聖化する信仰の伝承からきています。また、円錐形の中心に立てる三本柱が三方にわたして上部を結び、「柴灯」を作る事から、三又が「左義長」の文字があてられたので、この行事のことを一般的には「左義長」といわれ、子どもの火祭り行事とされています。この地域では「塞(歳)の神」、「性の神」、「だんご焼き」ともよばれています。都市化した現在では、野外でたき火をする場所がないので、以前のように集落の一定の場所で開催することができず、地域の広場や田んぼで、消防団員に援護されて行われています。



今回の城山検定の答えは、②米の粉でした。次回をお楽しみに！



城山探訪

しろやま見どころ紹介

キチジョウソウ =縁起の良い野草たち=



キチジョウソウの花

吉祥草をご存知ですか？11月に入り、寒さを感じる頃、ひっそりと小豆色の蕾をつけるヤブランに似たユリ科の野草です。私はこの植物のことを、小鳥に教えてもらいました。庭の隅に何年も茂っていた草が、ある年初めて花を付けて、キチジョウソウだと知りました。小鳥が落とした実から芽が出て、自然と育ったものです。このような、実から自然に育つ植物には、マンリョウ、センリョウなど、縁起の良い名前が付いたものが多いですね。ナンテンも、「難を転じてくれる」というありがたい名前です。その中でも、キチジョウソウは、この花が咲くと、「その家に良いことが起こる」と言われています。あまり花を咲かせないので、目立たないようですが、城山地区の山道に自生し、人に踏まれながらも

けなげに育っています。神社の下草にも多いとのことで、探してみたところ、なるほど、川尻八幡宮で花を付けているのを見つけられました。しかし、中沢の三島神社、小倉と葉山島の諏訪神社では確認できませんでした。皆さんの近所の神社仏閣ではどうでしょうか？

Information

城山エコミュージアムを育てる会の活動を紹介

活動レポート



古道部会の活動紹介

相原の歴史をさぐる会の皆さんと
地域をつなぐ古道を調査しました

古道部会では、地域をつなぐ昔の道（古道）を調査中です。11月16日（金）には、相原の歴史をさぐる会の皆さんと3度目の交流会を開催。今回は相原の歴史をさぐる会の皆さんに、八王子市の七国峠を通る鎌倉道や周辺の古道・史跡を案内していただきました。会の皆さんのご協力により、境川を挟んで町田・八王子方面からこの地域へ通る古道の調査が飛躍的に進んでいます。今後も地域をつなぐ道を調査してまいります。古道部会の活動に興味を持たれた方は、下記までご連絡ください。



爽やかな秋晴れに恵まれました



昔の写真部会の活動紹介

“出前・昔の写真館”を開催！

昔の写真を見ながら語りあう会

昔の写真部会では、新たな取り組みとして「出前・昔の写真館」を計画しています。

自治会単位で各地域に出向き、シニアクラブ連合会の皆さんを始め地域の方に、写真を映写して見ていただきます。お茶を飲みつつ写真の背景について楽しく語りあいながら楽しいひとときを過ごし、その情報を写真ごとに記録化していくのが目的です。

初回は、若葉台地区で開催

開催日：2月5日（火）

午前10時30分～

会場：若葉台自治会館



継続は力なり、この活動を長くつけていくために新しいパワーが必要です。気軽な会ですので、ぜひご参加ください。ご来場をお待ちしています。



一緒に活動しませんか？

城山エコミュージアムを育てる会のメンバーは、地域の昔の写真、古道、自然、通信づくりなど、それぞれの興味にあわせて活動しています。高校生以上の方ならどなたでも参加可能！まずは見学してみませんか？詳しくは右記まで。ご連絡をお待ちしています。

企画/作成：城山エコミュージアムを育てる会

発行：相模原市教育委員会生涯学習課城山教育班

問い合わせ：TEL：042-783-8184【直通】

FAX：042-782-1290

この通信のバックナンバーは、ホームページ（パソコン）からもダウンロードできます。携帯でも活動内容をご覧いただけます。

